

1. 授業の概要(ねらい)

実証科学としての心理調査研究を遂行するにあたり、求められる専門的な方法を体系的に学ぶ。とくに、質問紙調査、社会調査の方法について学修する。仮説を立て、検証するために必要な手続きを正しく理解し、研究の倫理的配慮についても、事例を挙げて詳しく検討していく。心理調査の計画を自ら立案できる力を養い、自身の研究へと繋げていって欲しい。

2. 授業の到達目標

- ① こころの働きを科学的に理解するための科学的思考力とデータ分析力を有する。
- ② こころに関わる様々な問題に実践的な解決を与える。柔軟な思考能力と実践力を有する。
- ③ 心理調査の計画を自ら立案することができる。
- ④ 実際に知見を導出していくために必要な研究方法がわかる。
- ⑤ 研究倫理とは何か説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

心理調査の方法を理解し、計画を自ら立案することができるか、実際に知見を導出していくために必要な研究方法がわかるか、研究倫理とは何か説明することができるかという観点から、中間テストと学期末テストへの回答を求め、2回のテストの合計点で評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献

サトウタツヤ・鈴木直人編 『心理調査の基礎』
有斐閣を参考書とする。そのほか資料プリントを配布し、LMSへアップロードする。

5. 準備学修の内容

授業前に指定した文献を読み、わからないことは自分で調べてから授業に臨むことを求める。

6. その他履修上の注意事項

2年次選択必修科目の1つであるが、3年次での履修も歓迎する。心理調査、とくに質問紙調査について専門的に学びたい方の履修を勧める。

LMSの本科目サイト内に、授業に関する情報を掲載する。履修者は毎週アクセスすること。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---|
| 【第1回】 | ガイダンスー心理調査とは何か |
| 【第2回】 | 問題の設定と仮説の構築について学ぶーどのように問いを立てるのか |
| 【第3回】 | 質問紙調査・実験・観察・面接の長所と短所について学ぶーいつどの方法を使うのか |
| 【第4回】 | 質問紙調査の方法について学ぶ(1)ーどのようにデータを集めるのか |
| 【第5回】 | 質問紙調査の方法について学ぶ(2)ーどのように集めたデータを分析するのか |
| 【第6回】 | 尺度構成の方法について学ぶーどうやって数値にするのか |
| 【第7回】 | ここまでのまとめ 中間テスト |
| 【第8回】 | テストの解説
尺度の信頼性について学ぶー精緻に測れているのか |
| 【第9回】 | 尺度の妥当性について学ぶー測りたいものが測れているのか |
| 【第10回】 | 社会調査の方法について学ぶ(1)ーどのように暮らしを測るのか |
| 【第11回】 | 社会調査の方法について学ぶ(2)ー何がわかるのか |
| 【第12回】 | 研究に求められる倫理的配慮について学ぶ(1)ー協力者の保護とは何か |
| 【第13回】 | <オンライン>
研究に求められる倫理的配慮について学ぶ(2)ー公正な研究とは何か |
| 【第14回】 | ここまでのまとめ 学期末テスト |
| 【第15回】 | テストの解説 総括 |